

【小学校国語】

小学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度である。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

※ いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

- 目的や意図に応じて聞き手を引きつけるように話したり、話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問したりすること。
- 目的や課題に応じて、意味のつながりを考えながら必要のある事柄を取捨選択し、構成を整えて文や文章を適切に書き換えること。
- 登場人物の行動や場面の移り変わりに注意しながら、物語全体の構成を考えてあらすじを書いたり、優れた叙述をとらえ、思ったことや考えたことを、理由を明確にして書いたりすること。
- 学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書くこと。

改善の方向

- 全体構成や言葉遣いを工夫して話したり、話し手の目的や意図に関心をもって聞き、質問したりする言語活動を通じた指導の充実。
- 相手に伝えたいことを明確に表現するために、文の中での語句の役割や語句相互の関係、文と文とのつながりを理解して書く指導の充実。
- 構成や展開の面白さをとらえる目的をもって様々な本や文章を読む機会を増やすとともに、自分の読書経験や体験と結び付けて読み、感じたことや考えたことを発表し合う言語活動を通じた指導の充実。
- 国語辞典や漢字辞典を積極的に利用して調べたり、漢字の意味を考えながら正しく使おうとしたりする習慣が身に付く指導の充実。

国語		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと								
	書くこと								
	読むこと								
	言語事項								
問題形式	選択式								
	短答式								
	記述式								

△ (上回っている) ◆ (ほぼ同程度) ▽ (下回っている)

※ 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【小学校算数】

小学校
算数

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

- 乗法及び除法の計算の意味や仕方などについて理解し、それらを適切に用いて式に表し計算すること。
- 平行四辺形や台形などの基本的な平面図形の面積を計算で求めること。
- 平面図形の定義や性質について理解を深め、構成要素及びそれらの位置関係に着目して考えること。
- 計算の順序についてのきまりを理解し、四則の混合した式などを正しく計算することや、数量の関係を、割合に表したり、グラフから変化の様子を読み取ったりすること。

改善の方向

- 数直線や図を用いて、既習と関連付けながら、用いる演算を判断し、計算の意味や仕組みについて理解を深めるとともに、計算結果の見積りを生かしながら正しく計算することができるよう習熟を図る指導や、数直線に表しながら、数の処理や数の性質について理解を深める指導の充実。
- 基準となる量を基にして、身の周りの面積や体積などの量について見当を付けたり、面積や体積を求める公式を導き出したりする算数的活動を取り入れた指導の充実。
- ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解を深め、問題解決に活用する指導の充実。
- 具体的な場面と式の表現とを結び付ける指導や、数量（基準量、比較量）の関係を割合（百分率）や数直線、グラフ、式などに表すとともに、それらを相互に関連付けて数量の関係を読み取ったりする指導の充実。

算数		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	数と計算								
	量と測定								
	図形								
	数量関係								
問題形式	選択式								
	短答式								
	記述式								

△（上回っている） ◆（ほぼ同程度） ▽（下回っている）

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校国語】

中学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均を上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均を上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

- 文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して話したり、話し手の意図を考えながら聞き取ったりすること。
- 記事文に書かれている内容を基に、自分の考えを書いたり、書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- 比喩的な表現で書かれた部分の意味を考えるなど、表現の仕方や文章の特徴に注意して読み、内容について理解すること。
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使ったり、ことわざの文脈における意味を理解したりすること。

改善の方向

- 聞き手を意識して文の長さ、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方などに注意して話したり、目的をもって聞き取ったりする指導の充実。
- 目的や意図に応じて収集した必要な情報を、比較したり関連付けたりしながら意見や感想を書くことや、主述や修飾・被修飾の関係など語句同士の関係に注意しながら推敲する指導の充実。
- 前後の文章とのつながりや漢字の意味を手掛かりに語句の意味を推測し、文脈に戻すことで文章に書かれている内容の大筋を理解する指導の充実。
- 同音異義語や謙譲語について意味や用法を適切に理解して書いたり、国語辞典等を活用しながらことわざの意味を理解したりする指導の充実。

国語		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと								
	書くこと								
	読むこと								
	言語事項								
問題形式	選択式								
	短答式								
	記述式								

△ (上回っている) ◆ (ほぼ同程度) ▽ (下回っている)

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。

【中学校数学】

本市の概要		今回の調査における課題	改善の方向
中学校 数学	<p>【区分及び領域】</p> <p>主として「知識」に関する問題(A)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「数と式」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 □ 「図形」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均に比べ、上回っている。 □ 「数量関係」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均に比べ、上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字に数を代入して式の値を求めたり、関係を表す式を等式の性質を用いて目的に応じて変形したりすること。 ● 円柱の体積の求め方を理解し体積を求めることや、証明の意義について理解すること。 ● 具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことや、樹形図や表などを利用して、場合の数を求めること。 ● 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な場面に照らして求めた式の値や、目的に応じて等式を変形する意味、変形して得られた式を利用することのよさについて理解を深める指導の充実。 ○ 小学校で学んだ直方体の体積の求め方から類推して、柱体の体積の公式を導く指導や、証明された命題は、その仮定を満たすすべての図形について例外なく成り立つことの理解を深める指導の充実。 ○ 数量の関係を表に表すことなどを通して、変化や対応を調べ式に表す指導や、重なりなどが無いような視点を決めて、樹形図や二次元表で数え上げる指導の充実。 ○ 日常的な事象を数学的に考察する過程で把握した事柄について、数学の用語を適切に用いて記述したり発表したりして説明する指導の充実。
	<p>主として「活用」に関する問題(B)</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 「数と式」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均に比べ、上回っている。 □ 「図形」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均に比べ、上回っている。 □ 「数量関係」の平均正答率 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国平均に比べ、上回っている。 		

数学		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	数と式								
	図形								
	数量関係								
問題形式	選択式								
	短答式								
	記述式								

△ (上回っている) ◆ (ほぼ同程度) ▽ (下回っている)

※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。